

## 平成22年度 事業報告

1. 平成22年度の当財団の基本財産運用収入は、0.85%の運用益となりました。

### 2. 啓発事業

#### (1) 一般部門

①当財団のメイン事業である「とやま環境賞」の第15回表彰式を、平成23年3月12日（土）午前10時より富山テレビ本社ホールで開催し、下記の2個人・6団体を表彰しました。

#### 「最優秀活動賞」

○湯浅 純孝

渡り鳥や雷鳥の生息状況調査により鳥類相の解明に尽力するなど、野生生物保護の貢献に対して

#### 「優秀活動賞」

○小原 耕造

自然環境保全を後世につなぎ伝える活動に対して

○NPO法人 富山の名水を守る会

富山の名水調査・保全・普及活動を通じた地域貢献に対して

○小矢部川に学ぶ会

自然観察会などを通じ、河川環境、水環境の大切さを地域住民に伝えている活動に対して

#### 「ジュニア活動賞」

○氷見市立湖南小学校

全校児童参加で実施している水環境保全・環境美化活動に対して

○黒部市立村椿小学校

全校児童参加の海岸清掃活動やサケの飼育・放流を通じた水環境保全活動に対して

○富山県立大門高等学校 国際環境委員会

環境国際会議に参加するなど、永きに亘る環境活動の取り組みに対して

○富山県立有磯高等学校

永きに亘る氷見海岸の清掃活動及び氷見漁港の水中清掃活動に対して

この表彰式の様子は富山テレビ放送で放送されました。また、それぞれの活動の様子も受賞者紹介の企画ニュースとして、夕方の「BBTスーパーニュース」で一週間にわたり放送されました。

- ②次世代を担う子供たちへの科学的理解の推進を目的にテレビ番組「つながるいのち」制作し、3月26日（土）に放送しました。  
昨年、名古屋で開かれたCOP10以来、改めて生物多様性の重要性が世界的に注目されていますが、生物多様性の意味や、何故大切なのか？私たちには何ができるか？など周知されていない事柄もまだまだ多くあります。  
番組では、生物多様性研究の第一人者である東大名誉教授・岩槻博士の話を中心に、富山で生物多様性に関する研究や保護活動に取り組む人々を紹介し、水の王国を自負する富山県における現状を紹介しました。
- ③当財団と国土交通省立山砂防工事事務所の主催による第14回「SABO体験楽校」を8月3日（火）～8月5日（木）の2泊3日で実施しました。県下の高校生3名が参加し、立山カルデラでの砂防工事の体験学習をしました。
- ④当財団と富山テレビ放送で「ふるさとスケッチ」を年間を通じて制作・放送し、自然環境の保全を提唱しました。

### 3. 普及事業

#### (1) 普及広報活動

- ①国土交通省富山工事事務所他、県内各工事事務所と共催で「川の絵画コンクール」を開催し、12月3日（金）に富山河川国道事務所で表彰式を行いました。  
今年度は県内全域の小学生から5,316点の応募があり、故郷の川への思いとエピソードが伝えられました。
- ②「親子で学ぶ！夏休み自然体験学習」をトヨタ白川郷自然学校の協力を得て8月21日（土）、22日（日）の2日間、12組24名の親子が「水と森のつながり」をテーマに自然体験学習をしました。
- ③11月13日（日）に富山県ひとづくり財団、富山テレビ放送との共同主催で「水みらいプロジェクト2010」を富山県民共生センターサンフォルテで実施し、県内各地での小学生の水に関する環境活動の研究成果を紹介しました。  
今回は、山本茂行氏（富山市ファミリーパーク園長）が「森を元気に 人を元気に 命を元気に」と題して基調講演を行いました。  
このプロジェクトの様子は特別番組として富山テレビ放送で12月29日（水）に放送されました。

#### (2) 催事・研究助成

- ①射水市絵本文化振興財団に環境教育に役立つ絵本の購入費を助成しました。
- ②日本黒部学会に賛助金を助成しました。
- ③応用生物工学会 北陸現地ワークショップ in 富山「とやまの生物多様性を守るために～その意義と実践～」に協賛金を助成しました。